

# 堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第17号

発行：平成20年9月1日 TSOグループ(指定管理者)

開園記念イベント

## 春のふれあいの森まつり 開催



堺自然ふれあいの森の開園2周年を記念して、4月6日に「春のふれあいの森まつり」を開催しました。天候にも恵まれ、第1部は、森のガイドウォークと自然のクラフト教室、シイタケ菌打ち体験を行い、49名の参加がありました。園内の畑で育ったサトウキビの試食もあり、自然な甘さに舌鼓を打ちました。



第2部では、堺市在住のクラリネット奏者、稲本渡氏をお迎えして「森のコンサート」を行いました。森の木々の若葉が顔を出し始め、ゲンゲや菜の花が咲き乱れる中、クラリネットのやさしい音色が森に響き、200名を超える方が小鳥のさえずりや森を通り抜ける風など、自然の音との共演を楽しみました。



## 森の散策路、広場を新設

里みち～尾根みちを回る散策コースの中間地点を繋ぐ散策路が完成しました。より気軽に森の雰囲気を楽しむことができます。

また、運営会議で協議した計画に基づき、整備していた里山風景区を広場として開放しました。この場所は、整備される以前は、木々やネザサに覆われていましたが、適度に間伐とネザサ刈りを行うことにより、コナラ主体の明るい雑木林になりました。冬は樹木が葉を落とし明るく開放的で、夏は、樹木が葉を広げ適度な日陰を作り出しています。



▲散策路の整備の様子



▲新しい散策路を歩く子ども達



▲新設広場の様子



# 「森の学校」を体験する

堺自然ふれあいの森では、訪れる方がより楽しく自然や環境について森を通して学べるよう、様々な催しを開催したり、森づくりをしています。

森との関わり方を大きく3つに分けて、紹介します。

## 自然を楽しむ



▲わくわく探検クイズシートを使って、森を散策する家族連れの様子



▲「親子で森あそび～ポレポレ時間～」

自然を身近に体験できるイベントを土日を中心に開催しており、四季折々の自然を味わえるように、その時期ならではのものをテーマにしています。

例えば、当園を特徴付けているドングリといえばシリブカガシですがそれを味わう「ドングリを食べよう」というイベントは、そのドングリを食べる生き物やドングリの成長などの話を織り交ぜ、ドングリを通して自然環境についても興味を持ってもらえるように工夫しています。また、一人や初めて来た方でも自由に森の散策を楽しむことができる案内板やセルフガイド(クイズラリー)を設置しています。

### イベント例 (19年度に開催されたもの)

- セルフガイドシート「わくわく探検クイズ」
- 親子で森遊び～ポレポレ時間～
- 初夏の森を味わおう
- など



▲「みつばちキャンドルを作ろう」



▲「ドングリを育てよう」

## 里山を体験する

### イベント例 (19年度に開催されたもの)

- 田植え体験
- ジャガイモ掘り体験
- 餅つき体験
- ヨモギ団子作り
- 染め物体験
- など

堺自然ふれあいの森では里山の復元を目標の一つにしています。里山の環境を復元するだけでなく、里山との新しい関わり方を模索しており、作物の収穫や樹林の間伐、草木染めのほか、季節の伝統行事を取り入れ、ヨモギ団子作りや月見飾り作り、わら細工など、里山での活動を体験できるイベントを行っています。



▲藍の生葉染め体験



▲ヨモギ団子作り



▲間伐体験

## 環境を考える

環境教育について学び、教える人を育成するリーダー養成講座や、どなたでも身近な事から楽しく環境について学べる講座など、子どもから大人まで様々な年齢に合わせた環境をテーマにしたイベントや講座を開催しています。

### イベント例 (19年度に開催されたもの)

- プロジェクト・ワイルド 指導者養成講座
- 環境学習はじめの一步
- 授業に活かす環境教育
- 里山へとつづく庭づくり
- など

今年の夏休みには「エコな暮らしの始め方」をテーマにしたシリーズイベントを企画しました。マイ箸やマイバック作りなど、環境について考え、気軽に取り組むきっかけを提供しています。



▲団体向けの植物観察講座の様子



▲「世界に一つだけのマイ箸を作ろう」



▲「野外調査入門」



▲「防ごう!地球温暖化」



▲「里山へとつづく庭づくり」

## もっと! 堺自然ふれあいの森に関わりたい方は...



▲樹林作業の様子



▲イベント「自然のクラフト教室」での指導の様子



▲樹木調査の様子

堺自然ふれあいの森で活動するボランティア「いっちゃんクラブ」。園内の森や田畑の手入れ、動植物調査やイベントなど、公園の維持管理の支援を様々な活動で行っています。活動の趣旨に賛同していただければ、どなたでも加入し、活動に参加することができます。



■私が、泉北ニュータウンにある「大阪府立大型児童館ビッグバン」の野外施設である「冒険遊び場ちよとパン」という場所で、子ども主体の活動に携わって9年目になる。

フィールドはビッグバンの敷地内だが、広場や雑木林(子ども達は森と呼んでいる)、池など、少しばかりの自然が残っているフィールドで、結構自慢だったりするのである。



■遊び場が開園した頃は広場を中心にクラフトや鬼ごっこ、水遊び、木登り、滑車ロープなどの遊びを中心に活動していたが、開園2年目から第4日曜日に敷地内の雑木林を使った自然体験活動(ネイチャークラブ)を立ち上げて活動するようになった。

内容的にはプロジェクト・ワイルドやネイチャーゲームなどのいわゆるパッケージドプログラムも使うが、その反面、クヌギの殻斗や遊び場に生えている草木を使った染め物体験や森の中での生きもの探し、節分の時期には森に自生しているヒイラギや自然素材を使ったお守り作り、また雑木林全体を使った生態系鬼ごっこなど、日本の伝統や文化、自然そのものを使った遊びや学びも取り入れている。里山での生活は本来、毎日が自然と共にあり、自然の恵みを必要以上に採ることなく、自然と一体となって生きてきた。これらのすばらしい生活の知恵を伝えることも私たちの役目だと思っている。

■ネイチャークラブでは班活動を基本としている。これは年齢が違う子ども達が雑談の中で問題を解決する糸口を見つけたり、互いの考え方の違いに気づいたり、その違いを認め合うことが大切だと思っているからである。ネイチャークラブの参加者は年間登録制で毎月同じ顔ぶれだが、子どもたちは通っている学校も学年も違うし、家庭環境も保護者の考え方も違う、ましてや子どもたち自身の活動へのモチベーションレベルも当然違う。ただ、あえて言えばここでしか会えない仲間がいて、ここでしか会えない大人がいて、ここでしか味わえない時間がある。遊び場という「心とからだの居場所」が自然体験活動の推進力にもなっているわけである。

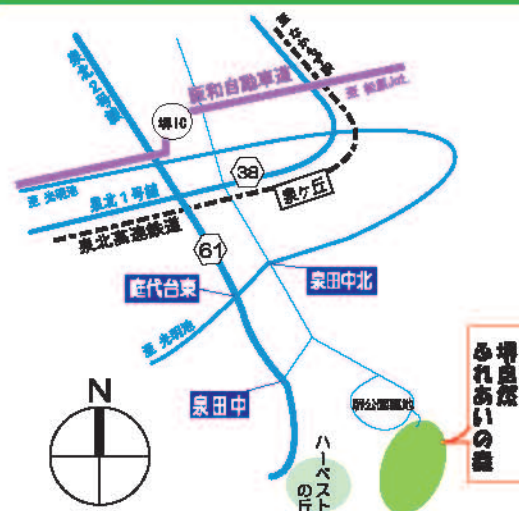
私たちの行う自然体験活動は「教育」ではなく、「共育」をキーワードにしている。上下隔たりのない人間関係の中で共に感じ、共に学びあう事から全てが始まるのだ。時には意見の違いから、いがみ合うこともあるし、時には新しい発見もある。もちろん私たち大人も子どもたちからたくさんの事を教えてもらっている。



■自然体験活動はただ単に楽しいだけで終わるのではなく、年齢や価値観が違う仲間や大人との交流の中で自分の考えや思いを整理し、互いに刺激し合いながら育っていくものだとは私は信じている。

非日常ではない冒険遊び場という「心とからだの居場所」での自然体験活動が、子ども達の意識や関心を高め、長い目で見れば「行動」をも変えていくと信じてやまない。

### 交通案内



#### ● 電車・バスでのご来園

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば(南海バス)  
鉢ヶ峯行き「公園基地北口」下車 約1.2km  
※日曜・祝日は、堺公園基地 直行便有り  
「堺市立霊堂前」下車 約500m

#### ● 車でのご来園

阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5km  
「堺公園基地」を目標に お越しください。

#### ●●●●● お問い合わせ・申込み先 ●●●●●

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地  
TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811  
ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



発行：堺自然ふれあいの森 TSOグループ(指定管理者)

※TSOグループは、株式会社生態計画研究所・大阪ガスセキュリティーサービス株式会社の連合体です。